

## そば島地蔵



表紙 素材礼讚 丹念

vol. **99** May 2023

### contents 目次

- 05 野菜歳時記
- 06 ランチ情報
- 10 はちのへプライダル情報 2023
- 13 ビューティー&ヘルシー情報
- 14 ショッピング情報
- 15 プレゼント&クーポン
- 16 中心街で Art を楽しもう
- 20 食育エッセイ
- 21 タウンウォッチ
- 24 初夏のグルメ特集
- 29 はちのへ TAKEOUT Gourmet

### ホームページ公開中

パソコン

<http://www.webwell.jp>

ケイタイ

<http://www.webwell.jp/mobile/>



昔々、ある山根のじ様が、町での祝言を終えてご機嫌で帰って来た。酒もたつぷりご馳走になったし、今夜は又月夜で足元も明るいしと、じ様は唄つこ歌いながらゆつたりと山を下つて来た。

そして平らな道に出たら、道端のそば畑に地蔵様がからつと並んで立っていた。そば畑に照らされて、たまた有りがたい顔をしていっただ。じ様はひ、ふ、み、よ、い、む、な、やま…と数えだす。「これはこれはお地蔵様、このじ様を待っていました。はいはい、それでは祝言の赤飯がありますすけ、あげもします」つて、背負っていたふろしきをおろし、祝言の品を一つ一つお

地蔵様の前にあげもした。それから、じ様は良い気持ちで家に戻つた。家ではあつぱ始め皆で、じ様の祝言のちそうや、引き出物を待っていた。そしたらなんとじ様は手ぶらで帰って来た。じ様「じ様、祝言の荷物どやしたきや？」とあつぱが聞いた。そしたらじ様は「有りがたい地蔵様さみんなあげもして来た」と云つて、ぐうぐうと寝てしまつた。さあ、家の人達は「じ様が狐にだまされだあ、地蔵様に化けた狐に皆持つていがれてしまつた。あの人さんこきつねめ！」と悔やんだ。でも、どうもこうもなねがつた。さて、次の日の朝まの事だ。村の人が「じ様居だがあ」と家さ入つてきた。あつぱが「まだ寝であら」つたきや「昨日、おめだ

じのじ様、町さ祝言食いがながつたが？」と聞いた。こう、行つたども狐にだまされで、祝言のもの皆盗られて帰つて来た」と言つた。そしたら村の人が「んだべ、おら家のそば畑に祝言の品物がいつばい落ちでいるよ」と、知らせくれた。あつぱがすぐそば畑に行つてみると、なんとそば島の一つ一つの前に赤飯だの焼魚だの、鯛菓子だの引き出物がきちんと置かれてあつた。そして、よく見るとその食べ物や品物は、けものにしたずらされることもなくそつくりそのままきれいな物だつた。

それを見だあつぱは「これは狐がじ様を化がしたのでなく、おら家のじ様が酔つぱらつて、そば島をお地蔵様と見違ひして品物をあげもしたのだ」と解つた。それからあつぱ

がすばつた。意地を張ることもうろくがたつた。認知症になつたそば島をばを刈つて束ねたものを五、六は集めてさらにならわて。袖を上にして立ち干しすること。



どつとはれ。

挿絵/久慈彩華

は品物を集めて家さ帰り、この事をじ様に云つたら、じ様は、「いや地蔵様がちゃんと立っていた」と、がすばつた。そこで、家の人は「おら家のじ様、もうろくがたつた」つて大笑いした。

まんずまんず「狐にだまされた」と、人間は狐を悪く云うが、人間の見違ひもあるという事を狐に代わつて一言いわせてもらつて、